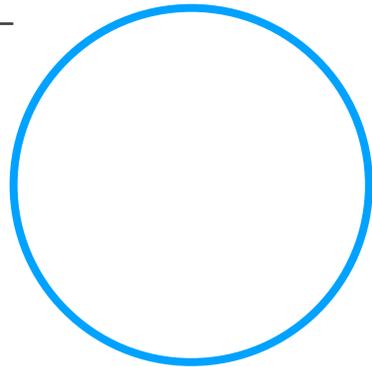


# 脳フェス2021 活動報告書

---

一般社団法人脳フェス実行委員会



# はじめに

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、オフラインイベントが行えず、オンラインイベント中心の事業となりました。

しかしながら、脳フェス通信や、オンライン脳フェスをはじめ、ご自宅にいても全国の当事者の活動が知れ、繋がれる文化を作ることができました。これも、日本財団さんのご支援があってこそです。誠にありがとうございました。

簡略ではございますが、報告書とさせていただきますので、ご査収いただけましたら幸いです。

# 助成事業①



## ホームページ制作

脳卒中当事者が社会参加の選択肢を増やすため、特設サイトを制作しました。脳卒中当事者が立ち寄ることで、孤独感を緩和できるコミュニティ運営をしていきます。また、次ページ以降の様々な取り組みのハブにしていきます。

<https://noufes.com/>

# 助成事業②

## R3年4月～ 脳フェス通信発刊

全国の病院・養成校中心に累計6,000部、公式LINEアカウントで累計5,520部無料配布いたしました。



## 6月5日 進化思考で考えるインクルーシブ社会開催

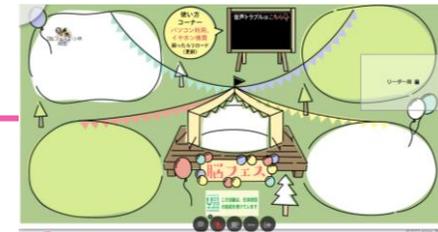
デザイナー太刀川英輔×ヘラルボニー松田崇弥両氏の対談オンラインイベントを開催しました。



## R4年2月～ 脳フェス村公開

オンライン上のバーチャル空間、脳フェス村を公開しました。日本全国の脳卒中当事者さんにご利用いただいています。

<https://noufesvillage.ovice.in/>



4月10日  
西野亮廣講演会  
えんとつ町のプペルに学ぶ、仲間の作り方をオンライン開催し、当事者・ソーシャル領域の方々計540人に参加いただきました。



10月24日  
脳フェスオンライン開催  
バーチャルイベントスペース「ovice」にて、開催しました。北海道から沖縄まで、300名を超える方々にご参加いただきました。  
<https://noufes.com/online2021/>



YouTube  
脳フェスチャンネル  
生配信・編集動画を28本アップし、総再生回数が14万9268回となりました。チャンネル登録者数が900⇒2800名に増加しました。

全ての助成金対象プロジェクトで、日本財団の助成を受けている旨を表記させていただきました。

# その他の活動

2021年度・学術局主催 生涯学習研修会Ⅱ

## 各種講演

代表の小林が、千葉県理学療法士会、聖路加大学、植草学園大学などの教育機関で、計9回講演させていただきました。

開催日：2021年7月4日（日）  
形式：ZoomによるWeb オンラインセミナー  
お手持ちのパソコン等の端末で受講ください  
テーマ：脳卒中患者だった理学療法士が伝えたい、本当のこと  
時間：9:00~12:10（入室：8:30~9:00）  
講師：小林 純也 先生（脳神経内科リハビリテーション病院）  
概要：脳卒中経験者の各障害を疑似体験し、患者さんの主観の大切さを知っていただく。  
対象：PT 協会の会員カードが発行されている会員のみなさん

## 日本理学療法士連盟動画出演

代表の小林が、日本理学療法士連盟公式動画に出演させていただきました。

<https://www.youtube.com/watch?v=aNd2ataR7VQ>



## 日経BP取材

脳フェスを立ち上げた理由から、未来のビジョンについて取材されました。



## 第19回日本神経理学療法学会

代表小林と脳フェスメンバーが、ファシリテーターとして参加しました。このような権威ある学会で、脳卒中当事者の声が反映されることは稀であり、今後広げていく必要があると感じました。



## インクルーシブ絵本「タグすけ」発売

脳卒中当事者と創ったインクルーシブ絵本タグすけを制作・販売しました。

[https://noufes.com/nofes\\_ehon/](https://noufes.com/nofes_ehon/)



## 朝日新聞取材

脳フェスが制作したインクルーシブ絵本「タグすけ」が取材され、2月18日の朝日新聞に掲載されました。



# その他の活動

## 映画制作・出演

脳卒中サバイバーと創るガチアクション映画「ファーストミッション」を共同企画しました。2022年5月6日より、池袋HUMAXを皮切りに全国公開予定です。



## OTジャーナル掲載

脳フェスの活動について「公的制度外で活動する団体の活動内容とその可能性. 作業療法ジャーナル 55 (8) , 2021.」を専門誌に寄稿しました



## ピアサポート事業開始

脳卒中当事者による当事者相談、リハビリテーション養成校サポート事業をスタートしました。

### 病院関係者、リハビリ養成校のみなさまへ

脳フェスのネットワークを活かし、病院へのサポーター派遣やリハビリ養成校での学生支援活動を行っています。脳卒中患者を支えるみなさまのお役に立てる取り組みを推進しています。

### 私たちのサポートの強み

- ・脳卒中当事者と医療専門職を中心に並列関係で企画運営している。
- ・当事者感覚を客観的に分かりやすく伝えられる当事者が多数在籍している。
- ・団体の在り方そのものがノーマライゼーションを体現している。
- ・昨今、世界的に「患者中心医療」の重要性が説かれている。
- ・NPO法人日本脳卒中者友の会、伊会議員、国立循環器病研究センター、理学・作業・言語聴覚療法士協会から後援をいただいている。



新団体コアメンバー（総数118名）

# 反省点と改善策

今年度は、新型コロナウイルスの影響でオンラインイベント中心の運営となりましたが、その結果として全国の当事者さんが繋がりを持てる場所づくりの基盤を作ることができました。

一年を通じて最大のイベントでもある脳フェスオンラインでは、満足度96.5%と大変好評な結果となりました。  
(図1)

また、脳フェスに参加した医療職学生に向けたアンケートでは、84.2%で当事者理解が進んだとお答えいただきました。(図2)

しかしながら、全国の回復期病院・施設・養成校へ向けて発信した「脳フェス通信」では、当初の予想よりもアンケートに対する回収率が極めて低く、また、感染予防の観点から入院患者さんへの共有をしていない施設もあり、当事者へ届けるという観点では予定を下回ってしまいました。

対策として、450名以上の登録者がいるLINE公式アカウントで脳フェス通信をPDF化して配信することで、脳卒中当事者に届く可能性を上げ、253名の方にお読みいただいています。(図3)

今後は、新型コロナウイルスの弱毒化とワクチン・経口薬による集団免疫獲得に伴う活動制限撤廃に合わせて、脳卒中当事者の外出意欲を向上させるプログラムを用意し、オフラインでの社会参加のキッカケづくりを行います。

来季の目標としては以下の3点があげられます。

1. オンラインでの情報発信増加 (YouTube脳フェスチャンネル登録者数5,000人)
2. オフラインイベントの複数開催
3. 病院・施設・養成校・自治体との共同プロジェクト開催

図1) 脳フェスオンライン2021アンケートより  
Q2.このイベントに参加してよかったですか？  
58件の回答

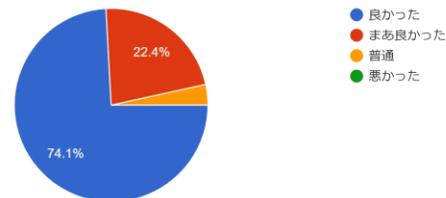


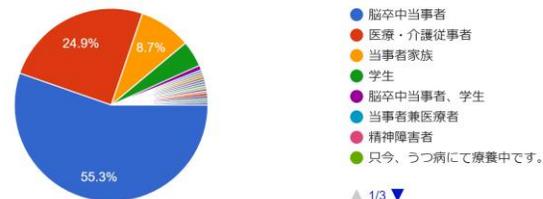
図2) 医療系学生向けアンケートより

今回参加して、当事者理解は進んだと思いますか？  
19件の回答



図3) 脳フェスLINE脳フェス通信配布希望者数

Q.1: あなたのことを教えてください。  
253件の回答



# 次年度の目標

## オンラインコンテンツ 拡充

オンライン・オフライン共に、配信頻度や企画を充実させることで、入院中の当事者・家族へ情報を届けます。

### 【目標】

LINE公式アカウント登録者  
1,000名

YouTube脳フェスチャンネル登録者数5,000名

## オフラインイベント 開催

閉じこもりがちな脳卒中当事者・障がい当事者や家族の社会参加をダイレクトに促すイベントを開催します。

### 【目標】

年3回開催

1,000人参加

## 収益化

サステナブルな団体になるために、収益化を目指すとともに、当事者への金銭的還元が可能な仕組みを実行していきます。

### 【目標】

病院・養成校での有償コンテンツ開催（年6回）

